

# 議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 210

2024年7月27日

6月  
定例会

じゅわ〜と  
じゅうぜん

水をモチーフとした新庁舎の議場

## 主な内容

補正予算の概要	...	2P
政務活動費の収支報告	...	4P
常任委員会レポート	...	6P
特別委員会レポート	...	8P
代表・一般質問（5議員）	...	9P
庁舎整備検討特別委員会の報告	...	14P



# 補足する給付を実施

6月定例会は、4日から19日までの16日間開会し、町長から提案された条例の一部改正など専決処分事項の承認4件、令和6年度的一般会計補正予算3件と事業会計補正1件、条例の一部改正など議案7件のほか、議員提出議案1件を審議し、すべて可決した。また、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。陳情1件については趣旨採択とした。

## 補正予算の概要

一般会計補正予算の主な内容は、物価高騰の影響を受けた住民税非課税世帯などに対する給付金支給などである。

歳入、歳出ともに6月4日提案の補正予算第1号・第2号で6億5624万6千円、19日提案の同第3号で658万5千円を追加し、総額113億4363万1千円とした。

## ◎主な事業

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費  
2億833万円

低所得世帯を支援するため、令和6年度に新たに住民税非課税となる世帯および住民税均等割のみ課税される世帯に対し、一世帯あたり10万円、さらに18歳以下の子ども一人につき5万円を加算して給付する。また、住民税納税者のうち、定額減税しきれない方に対して差額を給付する。

○感染症予防事業費

7234万円

高齢者等に対する新型コロナウイルスワクチン接種費用の一部を助成する事業費を計上する。

○海洋深層水取水施設等整備事業費

1億8000万円

令和6年能登半島地震により被災した海洋深層水取水施設等の復旧（建設付帯工事および消波ブロック移設）に係る事業費を計上する。

## 条例の一部改正

次の条例案を審議した。

- ・入善町税条例の一部改正について
- ・入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・入善町商工業振興条例の一部改正について

## 工事契約を議決

- ・入善町個人番号の利用に関する条例の一部改正について

賛成全員で可決

予定価格が5千万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

○入善海洋深層水取水施設建設付帯工事

請負者 清水建設株式会社 北陸支店  
請負金額 1億2320万円

## 議員提出議案

○入善町議会傍聴規則の一部改正について

役場新庁舎の竣工により、議場の傍聴席の数が変わったことで、傍聴席の定員数を変更する必要が生じたことなどから、同規則の一部を改正する。

賛成全員で可決

# 低所得者支援および定額減税を

## 陳情

「最低賃金の引上げ及び中小企業への支援拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

趣旨採択とする

## 陳情に関する討論

反対討論 中瀬 淳哉 議員

今回提出された陳情（陳情第2号）は、令和5年3月定例会においても、ほぼ同じ内容の陳情が提出されていた。その際、地域の実情に応じて都道府県ごとに決められている最低賃金の地域間格差の是正については、更なる議論が必要であり、時期尚早であるとの意見もあったことから、不採択と決した。

しかし、最低賃金の引上げや中小企業支援の強化については、一定の理解ができたことから、入善町議会独自の内容に修正して、議員提出議案として上程し、議員各位の賛同を得て、意見書として政府等に提出するに至った。

今回の陳情は、昨年の陳情とほぼ同じ内容であるため、最低賃金の地域間格差の是正については、今も賛同することはできない。また、入善町議会として、再度、独自

の意見書を提出するまでもないものと思っている。

したがって採択には至らないものの、歴史的な物価高騰により国民生活が苦しい中において、それ以外の陳情の趣旨には一定の理解ができることから、陳情第2号は、趣旨採択にすべきものと考えます。

賛成討論 井田 義孝 議員

賃上げが物価の上昇に追い付かず、実質賃金は25カ月連続下がり続けている。派遣労働を製造業などに解禁したことで、もはや若者の半数以上が非正規労働者で長時間労働、貧困状態に置かれ少子化の大きな原因となっている。長年の悪政、失政によって民間のお金は大企業と株主へ吸い上げられ、日本は先進各国の中で、成長のできない国になってしまった。

消費の拡大と経済成長のためにも、生活を守るためにも、最低賃金の大幅引き上げはどうしても必要。最低でも時給1500円と設定し、都市部などはさらに加算すべき。そして中小企業がその賃金を保障できるように国の支援が必要だ。消費が伸び悩む中でも、数々の不正を働き史上最長の利益を上げている大企業が、下請け単価を切り下げたり賃下げを押し付けるなどあつてはならない。

生活を守るためにも、日本の経済を健全化するためにも陳情2号は採択すべきだ。

## 入善町固定資産評価 審査委員会委員の選任

6月30日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、新たに細田博氏を選任することに賛成全員で同意した。

（任期は3年）



細田 博氏  
（東狐）

## 規約の変更

次の規約の変更を審議した。

- ・富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

賛成全員で可決

## 臨時会 4月17日

4月17日に開かれた臨時会では、町長から提案された工事変更契約関係などの議案3件を審議し、すべて可決した。

資材高騰などにより、次の公共工事の請負契約について可決した。

○入善町新庁舎整備事業 建築主体  
工事変更契約

請負者 飯作組・大勝建設・吉原建設

入善町新庁舎整備事業 建築主体  
工事共同企業体

変更後金額 1億5401万円増額し

21億2301万円

○入善町新庁舎整備事業 電気設備  
工事変更契約

請負者 北陸電気工事・米澤電気商会

入善町新庁舎整備事業 電気設備  
工事共同企業体

変更後金額 2606万円増額し

4億4406万円



整備された新庁舎

## 令和5年度 政務活動費の収支報告 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度の政務活動費は、次のように使われました。政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として会派に交付されます。所属議員一人当たり年額12万円（1万円/月）を上限に実績分が後払いされます。

(単位：円)

会派名	アクト	自民清流会	日本共産党	結芯	合計
代表者名	元島正隆	佐藤一仁	松田俊弘	岡島 功	
所属議員数	7名	4名	2名	1名	
政務活動費の対象経費	調査研究費				0
	研修費				0
	広報費	74,116		154,000	228,116
	広聴費				0
	要請・陳情活動費	218,770		4,920	223,690
	会議費				0
	資料作成費				0
	資料購入費			39,600	39,600
合計	292,886	0	198,520	0	491,406
政務活動費交付額	292,886	0	198,520	0	491,406
備考	※2			※1	

※1 結芯は令和5年11月30日付で解散した。

※2 結芯の代表者(岡島 功議員)は令和5年12月1日付でアクトへ加入した。

## 4月臨時会の議決状況

議案番号	氏名	鍵田	池原	岡島	井田	中瀬	田中	五十里	野島	佐藤	松澤	松田	元島
		昭	純一	功	義孝	淳哉	伸一	国明	浩	一仁	孝浩	俊弘	正隆
議案第36号	入善町新庁舎整備事業 建築主体工事変更契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	入善町新庁舎整備事業 電気設備工事変更契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	入善町役場新庁舎 備品(その1)の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 6月定例会の議決状況

承認第3号	入善町地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	入善町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第6号	入善町地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和6年度入善町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	東狐五十里線新村踏切改良事業に伴うあいの風とやま鉄道線生地・西入善間新村踏切拡幅工事委託に関する基本協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和6年度入善町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和6年度入善町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	入善町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	入善町商工業振興条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号(※1)	「最低賃金の引上げ及び中小企業への支援拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第47号	令和6年度入善町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	入善町個人番号の利用に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	入善海洋深層水取水施設建設付帯工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案3号	入善町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	入善町議会傍聴規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対、欠：欠席

(※1) 趣旨採択とすることの賛否

# レポート

## 総務 常任委員会

### 「富富富」生産拡大へ

**Q** 「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業費補助金は今後も継続した支援があるのか。

**A** 今回、町は10件の申請があり、全てが採択された。県が継続する限り町も支援していきたい。

**Q** まだまだ申請を考えている農家があり、待つておられる農家がいることをご理解いただきたい。

**A** 今後さらに富富富の生産拡大を目指す中で、種子をどう確保していくかという大きな問題がある。補助要件のハードルを下げるなど今後も県に要望していく。

### コミュニティ事業助成金は基本的には1地区

**Q** なぜ一般コミュニティ事業助成金は増えていつているのか。

**A** 以前は1地区、多くて2地区であった。

新型コロナウイルス感染症拡大により振り分けが増え、3地区が採択された。基本的には1地区である。

**Q** 一般コミュニティ事業助成金の採択を受けた地区はどこか。

**A** 三ツ家、神林、君島の3地区が採択を受けており、いずれもエアコン設置を予定している。

### 定額減税で混乱

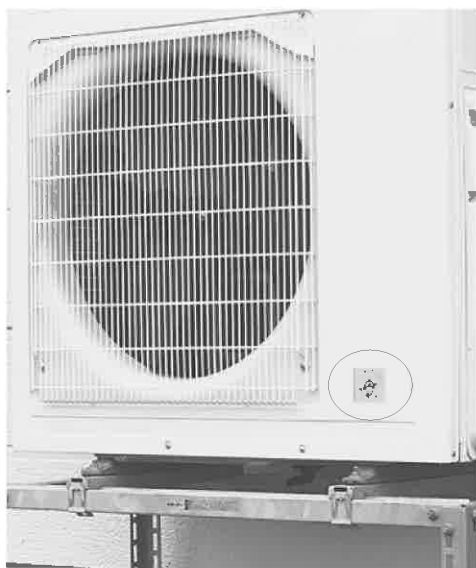
**Q** 定額減税しきれないQと見込まれる方への調整給付額の手続きは。

**A** 令和6年分の確定申告での手続きが必要となる。

**Q** 他市町だと事業所への明細が毎年送られてくるが入善町はどうか。

**A** 町も事業所へ送付しており、従業員の皆さんへは事業所から個々に配布されている。

**Q** 中小・小規模事業者などから戸惑いがあるか聞いていないか。



一般コミュニティ事業助成金で設置したエアコン室外機

**A** 給与からの減税や扶養人数について問い合わせがある。



コロナウイルスワクチン接種

### 高齢者への新型コロナウイルスワクチン開始

**Q** 新型コロナウイルスの高齢者への接種が10月1日から開始となるということだが、町として今後の進め方は。

**A** 9月を目途に町医師会と契約し、10月に広報・みらいTV等で周知する。個々に案内することはなく、接種を希望する方は医療機関に自己負担金を支払う形で考えている。

### 保育事業の条例改正町の保育士の補充は必要か

**Q** この改正により、町では保育士の補充は必要か。

**A** 町では対象施設が無いので補充は不要だ。

**Q** 町の保育士・保育従事者の配置はどのようになっているか。

**A** 町保育所は「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に基づいて配置しており、0歳児3人に対し保育士1人、1歳から2歳児6人に対し保育士1人、3歳児以上については、令和6年4月から20人に対し1人から、15人に対し1人へ変更。

4歳児以上は30人に対し1人から、25人に対し1人へ改正されている。町は、年度途中に入所する児童も加え、必要になる保育士を配置しているため、若干だが余裕を持ちながら、配置している。

# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

「富富富」生産拡大施設整備に支援

Q 「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業の詳細は。

A 生産拡大乾燥調製施設整備支援事業は県事業であり、補助率は県が3分の1、町が6分の1の合計2分の1の補助である。成果目標の「富富富」拡大面積の設定面積に応じ県の補助上限が設定されていて、補助上限区分は3ヘクタール以上7・5ヘクタール未満150万円、7・5ヘクタール以上15ヘクタール未満375万円、15ヘクタール以上30ヘクタール未満750万円、30ヘクタール以上1500万円である。

令和5年度から6年度に拡大した面積は、令和5年度で236・3ヘクタールから令和6年度は406・7ヘクタールと170・4ヘクタールの拡大になる。

里山温泉観光施設管理基金を積立て

Q 里山温泉観光施設管理基金積立金291万8千円は、例年これくらいの額を積立てているのか。

A 町が所有している源泉を供給しているバーデン明日とふれあい温泉、舟見寿楽苑の3社から徴収している温泉使用料を収入としており、源泉管理に要する光熱費やその他必要経費を差し引いた差額が生じた場合に積立てている。近年は温泉使用料の減免などもあり積立ては出来ていないが、令和5年度において温泉使用料を満額徴収して必要経費を差し引いた290万円程度が積立できた。

寄付金によりカンボジア派遣・受入れの増員

Q 泉英明さんからの寄付金250万円によるカンボジア中学生受入事業・派遣事業の増員についてだが、例年一般財源は充てることはないのか。

A 当初予算で一般財源を充てている。Q 今回の補正予算に一般財源が計上されていないが。

A 例年であれば6人程度の受入れ（中学生は4人程度）派遣は13（15人程度）（中学生は10（12人程度））で実施していたが、渡航費用等の高騰により令和5年度は受入中学生が2人、派遣中学生が6人だった。泉さんより増員していただきたいということで、今回の補正予算で受入れで2人、派遣で4人分を増額補正した。

Q カンボジアから来られる方の費用はどうなっているのか。日本に来て学ぶこともあると思うので、幾分か負担していただく考えはないか。

A 入善町の一般財源と泉さんの基金を充てている。全額補助する発想ではしたが、今後の受入については泉さんと協議検討したい。

Q 日本の中学生に内戦後のカンボジアを実際に見て感じてもらうこと、日本の暮らしは当たり前前ではないということを知ってもらいたい経験

A この事業は、入善の中学生がカンボジアを直接訪れて現地の中学生の状況や社会情勢を目の当たりにして帰ってきて非常に感銘を受けるいい事業だと思う。

として当初始まった事業だと思う。

A 泉さんとの間で、受入れは200万円、派遣も200万円というルールを決めて基金を運用してきた経緯がある。

Q 泉さんとの間で、受入れは200万円、派遣も200万円というルールを決めて基金を運用してきた経緯がある。

A 泉さんとの間で、受入れは200万円、派遣も200万円というルールを決めて基金を運用してきた経緯がある。

この事業は、入善の中学生がカンボジアを直接訪れて現地の中学生の状況や社会情勢を目の当たりにして帰ってきて非常に感銘を受けるいい事業だと思う。



令和6年度 カンボジアからの派遣中学生

# 環境・上下水道対策特別委員会レポート

6月17日に環境・上下水道対策特別委員会が開催され、令和6年4月より公営企業会計に移行し、未収金・未払金が発生することから、現金の動きが確定した5月31日時点での決算額の報告を受け協議した。

## 令和5年度決算 (5月31日時点)

【歳入合計】  
13億7027万

4906円

【歳出合計】

13億1965万

2777円

## 令和5年度事業実績 令和6年度事業計画

○管渠工事について  
国道8号沿いのみが残っている。8号拡幅工事に併せて下水道も整備している。

令和4～6年度の実績・予定（6年度完了予定）

○ストックマネジメント計画について  
5・6年度の2カ年で監視制御設備更新を行う。5年度に3池目の曝気装置盤2面、消泡水ポンプ盤1面の盤製作、6年度に取り換え工事を行う。

6年度以降は、入善浄化センター、吉原第一ポンプ場、マンホールポンプ更新詳細設計に事業費2700万円を計上。

## 主要財源別財政見通しの試算について

令和5年度決算、6年度予算を反映した財政の見通しは7年度以降、収支がマイナスになり、毎年度1億円ずつマイナスが増えていく見込み。

## 使用料値上げを検討

Q 令和7年度から使用料を上げたいのか。町と

して何%UPしたいという明確な率は決めているのか。

A 令和7年度中に基金が枯渇することから、7年度から上げざるを得ないと考えている。

率は赤字にならない20%以上とし、数年後にさらにUPについて検討したい。

Q 町の1人世帯・2人世帯での下水道使用料は他市町と比べてどうか。

A 1人世帯・2人世帯は、他市町より高い状況で、3人世帯から他の市町村の中間ぐらいになる。

Q 町の世帯構成は、1人世帯・2人世帯・3人世帯が全体の75%である。それを踏まえて、さらに上乗せして値上げするの。改善する方法を探したのか。

A 基本料金と1人あたりの使用料をどうするかはこれから検討し、今後

また特別委員会などで議論したい。

Q 今後のスケジュールは。

A できれば9月議会までに一定の方向性を議会と協議し、その後、住民説明会等で理解を得て、12月議会に条例改正について上程し、本格周知したい。

Q 急な話なので住民に説明する時間は十分か。

A 各地区まち懇や各地区説明会を開催することを考えていく。

広報や回覧板での周知も考える。

Q 現状の起債残高はどれくらいか。

A 令和5年度末で108億8400万円だ。

Q 独立採算である企業会計としてマイナス決算は大丈夫か。

A 借入れや一時的に一般会計から貸出す方法もある。

# 議会改革特別委員会レポート

6月19日に議会改革特別委員会が開催され、議員定数の在り方と導入が決まったタブレット端末の取扱いについて議論した。

## 議員定数について

現在の定数は平成17年に決められた14名（現在1名欠員）である。

以来20年近く経過しており、その間、約6千人近く人口が減少している。また、前回の改選時（令和3年）においては、無投票で、町民による審判を受けていないのが現状である。これまで定数について現状維持か削減かの議論を重ねてきたが、来年の改選期まで一年余を残すところとなり、この定数が適当かどうか、次回の9月定例会で結論を出すことと決めた。

## タブレット端末の導入について

役場新庁舎の稼働と共に議会のICT化やペーパーレス化の推進を目的にタブレット端末の導入が決まった。

9月定例会から当面の間、紙資料と併用しながらタブレット端末を使用していく。

これからは、議員や町長、課長等はタブレットを議会で使用するものとし、議員においては、議員活動の範囲においてのみタブレットを利用できるなどの細かな運用規定を確認した。



配布されたタブレット端末



新たなシンボル

新庁舎に込める町政への理念は

町長

可能性を秘めた魅力的なエリアに変わり  
新たな地域振興と相乗効果を図っていく

問 公共施設が統合した新庁舎周辺での将来展望は。

笹島町長 子育て・健康・福祉などの機能のほか、



入善町の宝である子ども達（わくわくドーム）

行政機能や防災機能が加わり、新たな町づくりの可能性を秘めたゾーンへと生まれ変わった。中心市街地を始めとした町内各地の地域振興も図りながら新たな町づくりに努めていく。

消滅可能性自治体から脱却への一手の考えは諦めずに粘り強く総力を挙げ脱却に取組む

問 「ストップ人口減少」を一番に掲げ、きめ細やかな政策の推進をしたが消滅可能性自治体に該当した事は谷底に落とされた思いである。汚名返上する大胆な政策の考えはあるのか。



元島 正隆 議員（会派 アクト）

町長 少子化対策や子育て支援の施策は県内はもとより全国においてもトップランナーであると

自負してきただけに「消滅」という言葉はインパクトも大きく町民の皆さんも不安を感じられたと思う。

人口減少という町の存続にかかわる問題の解決のため、これまで行政が足を踏み入れたことのない施策、婚活パーティーや不妊治療等への支援など果敢にチャレンジし着実に効果が表れている一方、人口減少に歯止めがかかっていないのが現実である。今後、総合計画・実施

計画のローリングや、令和8年度からの後期基本計画の策定に向け、役場の英知を結集し、特に若手職員を中心とした斬新で大胆なアイデアを吸い上げるなど、町の総力を挙げて取組んでいきたいと考えている。

人口減少、少子化問題は国の根幹に関わる日本全体の課題である。町行政の力だけでは限界がある。地域住民や地元企業の力も借りながら、今一度、問題を共有し、町民一人一人が「我が事」と捉えてもらえるよう意識の醸成を図りながら、町一丸となって人口減少の克服に努めてい

若者を中心に総合戦略会議の創設の考えは「ふれあいトークにゆげん」で意見交換

問 次代を担う若者の意見を尊重し総合戦略検証委員会の参加を促し、斬新な町づくりの考え示すべき考えはあるのか。

町長 若者を中心とした若年の意見を町政に反映させる事を目的に、あまり形式張ることなく、車座に座って自由に議論しやすい雰囲気を作りながら、いろいろなアイデアやデジタルツールの活用を含めて若者の声を聴きながら町づくりを進める。



がん検診用車「かもしか号」

国民健康保険世帯のがん検診の受診実績は  
元氣わくわく胃がん21・0%、大腸がん27・7%、  
健康課長 肺がん40・3%など半数以下だ



佐藤 一仁 議員（会派 自民清流会）

問 国民健康保険加入世帯のがん検診受診実績はどの程度か。  
島瀬元氣わくわく健康課長  
令和5年度では、胃が

ん21・0%、大腸がん27・7%、肺がん40・3%、子宮がん27・1%、乳がん30・4%と、半数に達していない。

問 がん検診の対象年齢が40歳以上だが、引き下げできないか。

島瀬課長 町のがん検診は、厚労省の指針よりも、胃がんと乳がん検診で10歳引き下げている。また、隔年実施とされている胃、子宮、乳がんについても、町では毎年実施している。

問 人間ドックの増額補助はできないか。  
島瀬課長 30歳以上の国保加入者に対して、男性5000円、女性

5000円〜7000円を助成している。40歳以上の加入者には、自己負担の少ない、町の特定検診やがん検診を利用して健康管理をお願いしたい。

審議会の委員を若い世代から公募しては  
将来を担う若者の意見は貴重な声だ

問 第7次入善町総合計画の後期計画策定が令和8年度から予定されているが、どのように進めていくのか。

笹島町長 10年間の基本構想の「基本理念」など、まちづくりのベースは維持しつつ、前期計画で実

施した各施策の達成状況や今後の展望を検証しながら、今後5年間の方向性を示していく。

町民の行政サービスやまちづくりについての意識調査や若者対象のアンケートも実施する。

問 後期計画策定に際して、審議会委員を20年後、30年後の町の中心世代となる若者世代からの公募を考えてはどうか。

町長 後期計画の策定において、審議会の開催は必須ではないが、将来を担う若者がさまざまなまちづくりの場に参加して発言されることは、これ以上ない貴重な声と考えている。

学校統廃合を総合計画にどう位置づけるか  
地域や保護者の声があつて動き出すもの

問 少子化の中でも教育環境整備は必要だ。小中学校の統廃合をどう総合計画に位置付けるのか。  
小川教育長 学校の統合問題は、行政の思いだけでなく、地域や保護者の声があつて動き出すものと考えている。小中学校の統廃合は、メリットやデメリット、諸課題を検証して、教育効果や影響を見極めながら議論を深めたい。

免許返納者への公共交通利用券

使い方の拡充を

町長

返納者への外出支援という趣旨は変わっていない



改善が求められる町の公共交通

**問** 全国的に高齢者による交通事故が問題になっており町でも免許を返納する高齢者が増えている。

**町** 町が免許返納者に発行している3万円×3年間の公共交通利用券は6割強しか使われておらず、本人の運賃にしか適用されないので使えない人もいます。家族利用やシニアカー購入にも使えるようにすべきだ。

**若林キラキラ商工観光課長** 返納者への外出支援という趣旨から外れるので検討していない。

**問** 免許返納の報奨として何にでも使えるよう制度を変えるべき。

**笹島町長** 返納者への外出支援という趣旨は変わっていない。



井田 義孝 議員 (会派 日本共産党)

**公共交通無料パス発行と一部バスの復活を**  
**免許返納高齢者に大きな負担になっていない**

**問** 他の市町は充実したバス路線があり、それにコミュニティタクシーなどを組み合わせている。

**町** 町営バス2路線の他は全域をウチマエくんのみでカバーしている。もはや、町民の移動を保障する福祉として公共交通の充実を検討すべきだ。免許返納者には黒部市のように無期限無料のシルバーバスを発行するのが一番合理的で公平だ。また一番利用の多い病院とショッピングセンターと各集落をつなぐバスを復

活させるべきだ。

**若林課長** 免許返納高齢者は町営バスが1000円、ウチマエくんは300円で大きな負担にはなっていない。

**町長** 費用対効果やウチマエくん導入にいたる経過もある。あれもこれもは出来ない。

**問** 1回1万円かけて黒部市民病院へ通っている人がいる。他市町への乗り入れと入善駅へのエレベーターの設置を。

**若林課長** バスやウチマエくんの路線に入善駅が含まれており他市町への移動が可能。相互乗り入れには様々な調整が必要。エレベーターは国の財政支援が必要で、来月あいの風鉄道と県に要望

書を提出する。

**物価高に追打ち電気代高騰に支援を必要な支援を見極めていく**

**問** 再び値上げラッシュが続く中、政府の電気・ガス会社への補助が終了し、6月から電気代が大幅に値上げされる。高齢者や生活に困窮している人がエアコンを制限しなくていいよう町独自に電気代の支援を。

**町長** これまでもプレミアム商品券や低所得者への給付金など機動的に支援してきた。まずは6月補正予算での支援に努め、必要な支援を見極めながら取組んでいく。



舟見城址館から望む扇状地

舟見城址館に大型観光バスの駐車場を  
確保してはどうか  
キラキラ商工  
観光課長  
整備について検討したい



野島 浩 議員

**問** 今年も4月・5月、舟見城址館は、夕暮れ時の景観を楽しみに千人近い来場者で賑わった。将来的に南側の舟見山

自然公園を利用して、大型バスの駐車場を確保してはどうか。

**若林キラキラ商工観光課長**

城址館は、町有数の観光名所として県内外から多くの観光客が訪れており、町の重要な観光資源と位置付け、その魅力を広くPRしている。

今後は、現在整備中の「山のみち」林道羽入・明日線と林道中野線の開通により、大型観光バス専用駐車場設置についての検証も必要と捉えている。

**問** 城周辺の樹木が成長し、景観を損なっている。特に、自然公園にある展望台前方の杉が大きく

成長し、本来見えるべき扇状地の景観を完全に遮っている。特に、扇の要とも言える愛本橋付近や対岸の景観が全く見えない。現状では展望台としての役割を果たしていない。樹木を伐採し、本来の景観に戻すべきだ。

**若林課長** 城址館周辺は、樹木が生い茂り、天守閣からは黒部川扇状地が見渡せるものの、外に設けられた展望スペースや見晴台からは見にくい状況となっている。

舟見山周辺の更なる魅力向上を図るためにも伐採の対象となる土地の地権者と協議を重ねたい。

**問** 「スマホ教室」や「電子回覧板」の取組みと成果、また、デジタル化に対する町民意識の変化について伺う。

町が目指すデジタルコミュニケーションの姿とは  
町民と町職員が共に恩恵を享受できる社会

**岡島財政課長** これまで高齢者を対象に「スマホ教室」を5回開催し、延べ51人の参加者があった。参加者からは「使いこなしたい」「基礎から学びたい」といった声が多く、今後も継続していきたいと考えている。

「電子回覧板」については、令和6年3月時点で区長会など5団体571ユーザーの利用がある。

今後、さらに利用拡大が期待され、町民のデジ

タル化に対する関心や意識が少しずつ高まっているものと考えている。

デジタル格差を埋め、誰一人取り残されないための取組みを継続していくべきと認識している。

**問** 町公式LINEアカウントは非常に有効なツールと言えるが、登録者数が少ないのではないか。

**岡島課長** 町公式LINEアカウントは、令和5年10月に開設し、導入から8カ月が経過した現在、2700人余が登録している。5月からは行政情報だけでなく、災害や気象情報など緊急伝達力の強化を図ったところである。今後、町民に興味を持ってもらえるような様々な機会を利用して登録者数の拡大につなげたい。

人口戦略会議が入善町を消滅可能性自治体に  
若い女性 2050年に半減 所感を問う  
町長 粘り強く消滅可能性自治体からの  
脱却に向け町民と一緒に取り組む



子ども達の声が響き合う公園

問 民間組織「人口戦略会議」が4月24日、将来的に「消滅可能性がある」と見なした県内の2市3町の自治体を公表し、入

善町が該当した。

報告書では「自然減対策が必要、社会減対策が極めて必要」とされた。

町はこの公表をどのように捉えているのか見解を伺う。

笹島町長 このままでは、人口減少がさらに進むことから、施策の効果検証や、住民ニーズの把握はもちろん、改めて役場全体の英知を結集し、この課題解決に向けたまちづくりを進めていく。加えて地域住民や地元企業の力も借りながら、町一丸となつて人口減少の克服に努めていきたい。さらに今回の報道を真



田中 伸一 議員

撃に受け止め、危機感をもちながら、粘り強く消滅可能性自治体からの脱却に向けたまちづくりを推進していく。

入善高校存続のために町は今後どのように町民と連携を図るのか  
同窓会や後援会、PTA、地域住民と連携を図る

問 県立高校再編は、地域検討会や意見交換会、その他住民説明会が実施され丁寧な説明と地域住民の納得を得る合意形成が極めて重要なことと考える。十分な説明や協議も行われず、納得も合意もなく、地域に必要な高校を

なくす統合計画はあつてはならない。

町は入善高校の存続を今後どのようにして町民と連携を図っていくのか。

小川教育長 入善高校は、特に農業科から輩出された多くの方々によって、全国に誇る農業地域となり、町のアイデンティティへとつながっていった。

入善高校はこの地域との連携や、地域の特性を生かすという視点が、ますます重要となつてくる。

現在、富山県教育委員会主催の「地域の教育を考えるワークショップ」の第1回目が開催されたほか、県議会の最大会派である自民党富山県議

議員会が主催のタウンミーティングが開催された。

今後は地域の様々な声を集める場として、参加を希望される県民が誰でも参加できる「地域の教育を考える意見交換会」なども予定されている。

町は、こうした場に積極的に参加し、入善高校、あるいは、地域の特性を生かした教育の重要性などをアピールしていきたい。

これから先は、県総合教育会議での議論を注視することになるが、入善高校の存続に向けて、同窓会や後援会、PTAなど様々な関係機関はもとより、地域住民ともしっかり連携していきたい。

## 「特集」庁舎完成による

### 庁舎整備検討特別委員会の報告

委員長 松澤孝浩

役場旧庁舎は耐震基準を満たしていないことから、平成30年3月議会において委員会を設置し、49回にわたって委員会を開催した。

町当局から、旧庁舎の耐震補強による耐震化、あるいは建替えによる耐震化・免震化など、複数の案が示される中、委員と町当局で議論を重ね、選択肢を絞り込んでいった。この間、耐震化や免震化を行った他の市町の庁舎だけに留まらず、民間のビルへも現地視察を行い、最適な庁舎の整備手法について研究を重ねた。

平成30年12月議会において、笹島町長は「建替えによる耐震化の方向で整備を進めたい」と表明された。この方向に沿って、当局から建設候補地として上がったのは、旧庁舎の敷地内と中央公園北側周辺の2箇所の計3箇所であり、本

委員会では約1年間にわたって候補地の調査・検討を進めてきた。令和2年に入り、新庁舎の整備場所が運動公園北側駐車場の北側敷地に正式に決定した。

議会にかかるスペースについては、議場のフラット化や傍聴席へのスロープ設置などのユニバーサルデザインへの対応、会議室スペースの確保、傍聴ロビーへのモニター設置など、10月・12月の2回にわたり、町当局に要望書を提出した。財源として地方債の条件緩和や実質的な制度延長が行われ、新庁舎整備の財源として有利な地方債を充当することができるようになった。

新庁舎の防災機能の強化や脱炭素社会の実現やSDGsへの対応などの検討を加えた実施設計が進む中、

建設資材費の高騰や労務費の上昇から、事業費の増嵩を懸念した。

令和4年の新年度予算の算定した概算事業費よりも12億円あまり増額になるという報告を受けた。

工事の発注方法については、地元業者育成の観点から町内の業者、もしくは町内の業者を構成員とする特定建設工事企業体、いわゆるJVに発注してはどうかと

議会から提言した。

その結果、主要な工事は全て町内の業者が構成員であるJVに発注された。

工事中後、終始、工事の進捗が3%〜5%程度遅れて進み、「これ以上は遅れないのか」「工期に間に合うのか」といった心配の声が出されたが、若干の工期延期はあったものの、令和6年5月26日に竣工式、翌5月27日から開庁となった。



## 編集の窓

ついに新しい役場が完成し、6月議会は新しい議場で行われました。

表紙の写真のように、新しい議場は入善町の顔である「水」をイメージした青を基調としたおちついた印象。

議員席や当局の席に一切段差のないフラットフロアです。傍聴席との距離も近くなり、より「ライブ感」が感じられるつくりとなりました。

より一層みなさんの生活に密着した論戦を展開したいと思っています。

ぜひ傍聴にお越しください。

### 議会広報編集特別委員会

議長	本田 均
委員長	池原 純一
副委員長	井田 義孝
委員	五十里国明
”	田中 伸一
”	中瀬 淳哉
”	鍵田 昭